

地質ニュース

昭和50年5月 第249号 1975

解説	昭和50年度の事業計画……………企画室・1
	Side Looking Airborne Rader (SLAR) ～24時間全天候型のリモートセンシング～……………駒井二郎・6
海外事情	エルツゲビルゲの旅……………石原舜三・18
	シベリアと極東のガラス原料資源①……………岸本文男・36
	エカフエ地域堆積盆地層序対比作業部会……………沢田秀穂・47
	地学と切手……………P. Q.・17
	地質調査所発行の各種地質図名一覧……………58

編集 地質調査所

表紙の写真

傾斜不整合

写真は奈良・京都・大阪にまたがる生駒山脈に接する丘陵の東縁部 京都府相楽郡精華町下狛にみられる傾斜不整合の露頭である。地層は鮮新～更新世の大阪層群と その上に不整合にのる更新世後期の段丘堆積物で 大阪層群は 約20～40度で東へ傾斜している。

この傾斜不整合の露頭は 大阪層群の堆積過程を通じて構造運動が起ったことを物語っている。大阪層群が東へ傾斜していることはおそらく近畿中部において 更新世中期から南北性の構造運動をもたらした六甲変動の一つの証拠といえるだろう。(小村良二)

発行 株式会社 実業公報社